

## おちば シャック シャック

ちいさなかがくのとも 2008年12月号

高柳芳恵 ぶん ながさわまさこ え

福音館書店 2008年



誰でも子ども  
のとき、  
落ち葉の上  
を駆けまわ  
ったり転げ  
まわったり、  
風に舞う落  
ち葉と一緒

にダンスを踊ったことがあったろう。

誰でも若い父親や母親になったとき、幼子の手をひいて落ち葉がかさこそなる雑木林を歩いたことがあったろう。

『おちば シャック シャック』を開く

と、そんな昔の思い出がふわーっと立ちのぼってくる。あの日の落ち葉の匂い、カサカサと乾いた手ざわりや陽で温められた葉のぬくもりまでもが、感じられる。

落ち葉と遊ぶ・・・もし、まだそのような幸せな時を持ったことのない小さな子がそばにいたら、ぜひこの本を開いて、一緒に葉っぱの匂いを感じてみよう。もちろん、その後はこの本を持って雑木林へ。降り積もった落ち葉とたわむれるために。落ち葉のプールにねっころがって、抜けるような青空を見るために。